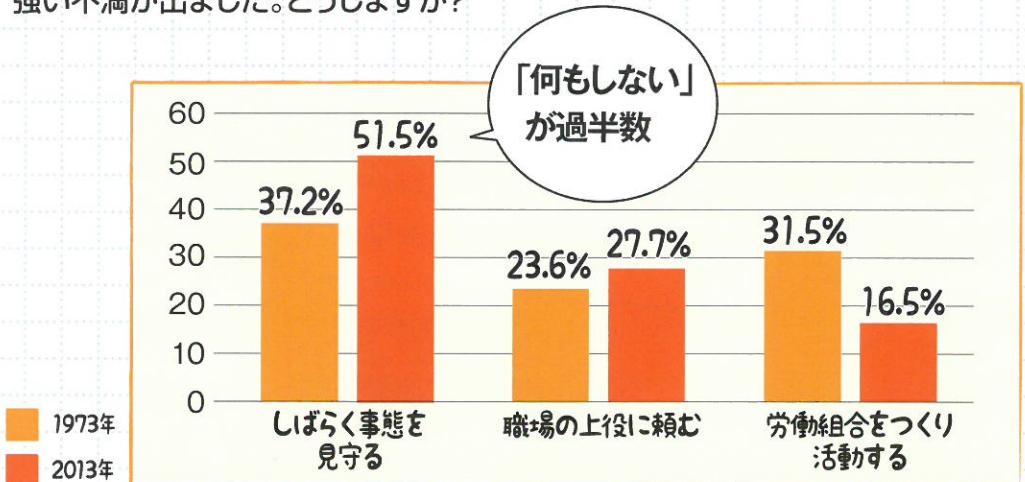


1

今、なぜ労働教育なのか！

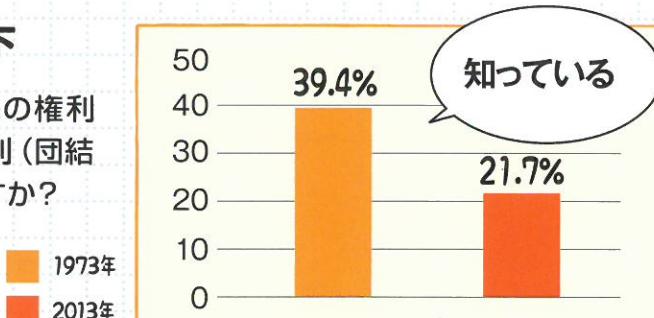
課題1 協働で問題を解決する意識の低下

Q あなたが勤める会社で、社員（あなたも含む）から給料や働く時間などの労働条件に強い不満が出ました。どうしますか？



課題2 権利の認知度の低下

Q 日本国憲法で保障された国民の権利として、「労働組合をつくる権利（団結権）」があることを知っていますか？



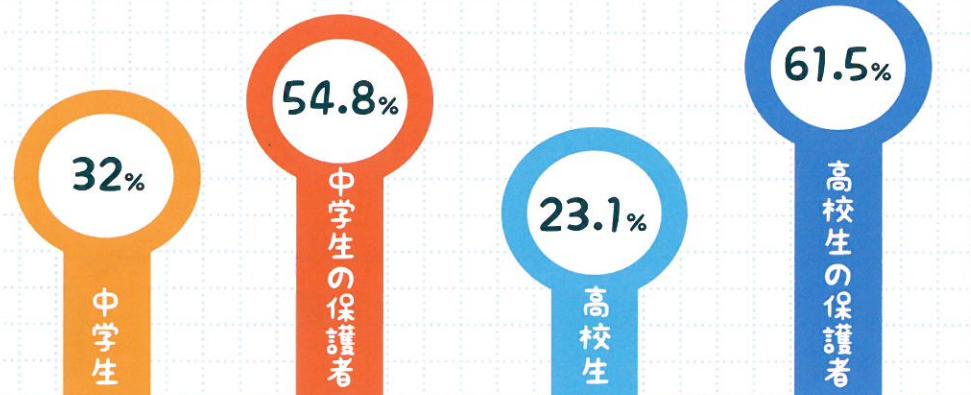
NHK放送文化研究所「第9回『日本人の意識』調査」(2013)結果から作成

2

子ども・保護者が求めているのは、労働教育！

Q キャリア教育で指導してほしかったことは？

「就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応」



文部科学省「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」(2012年10月～11月)から作成

3

労働教育はキャリア教育の一分野！

●キャリアを積み上げていく上で
最低限必要な知識を自らの将来に関わることとして理解する。

- 経済・社会・雇用等の基本的なしくみ
 - …社会は分業によって相互に支え合って成り立つ
- 社会人・職業人として必ず必要な知識
 - …税金・社会保険・年金の知識、労働者としての権利・義務
- 男女共同参画社会の意義
- 仕事と生活の調和の重要性



▶さらに、後期中等教育・高等教育では、
雇用、労働問題、社会保障について理解を深め、知識を確実に習得

中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(2011)から作成

4

わたしたち教職員にできること

Step1

労働者の権利を学び、労働現場の実態を知り、
キャリア教育などの実践にいかすこと。



さまざまな仕事・働き方を学ぶ。
労働者の権利を学ぶ。

みんなの力を合わせれば、
できることもあるはず。



Step2

子どものSOSに気づき、よりそい、課題と向きあうこと。必要なら相談窓口へつなぐこと。



ひとりで悩まずに相談することの大切さ、重要さを学ぶ。

困ったときには、ひとりで抱え込まないで、まわりに相談して。

Step3

子どもたちが主体的に協力・協働して課題を解決していく経験ができるよう支援すること。



助け合うことの大切さ、みんなで協力・協働して課題を解決していくことを学ぶ。

労働教育は、よりよい社会をつくるためのステップ！